

かずさ水道広域連合企業団
水道事業及び水道用水供給事業業務状況
(令和2年度下半期)

令和2年10月1日～令和3年3月31日

かずさ水道広域連合企業団

目次

総括	1
第1章 水道事業	
第1 事業の概況	
(1) 業務の状況	3
(2) 建設改良事業の概要	3
第2 経理の状況	
(1) 収益的収入及び支出	4
(2) 資本的収入及び支出	5
第3 令和3年度の予算の概要	
(1) 予算の概要	6
(2) 収益的収入及び支出	6
(3) 資本的収入及び支出	7
第2章 水道用水供給事業	
第1 事業の概況	
(1) 業務の状況	9
(2) 建設改良事業の概要	9
第2 経理の状況	
(1) 収益的収入及び支出	10
(2) 資本的収入及び支出	11
第3 令和3年度の予算の概要	
(1) 予算の概要	12
(2) 収益的収入及び支出	12
(3) 資本的収入及び支出	13

総括

かずさ水道広域連合企業団は、君津地域の水道事業の効率化を図るため、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市の四市で行っていた水道事業と君津広域水道企業団で行っていた水道用水供給事業を同一の事業体で行うことを目的に創設し、平成31年4月1日から事業を開始しました。

水道の基盤を強化し、清浄にして豊富低廉な水の供給を図ることを目的に、持続可能な水道事業の運営に向け様々な課題を抱えるなか、技術基盤や経営基盤の強化に関して効果が期待できる事業統合を実施しました。

令和2年度においては、前年度に引き続き、水道事業では、国からの交付金や四市からの出資金を活用し、施設統廃合事業及び管路更新事業の推進に取り組みました。水道用水供給事業では、安定的な水道用水供給を可能とするため、取り組みが急がれる施設の耐震化を優先的に実施するとともに、能力低下や重大故障の回避を図るための老朽化施設の計画的な更新に取り組みました。

また、令和2年12月、富津市の笹毛踏切付近の漏水事故による断水が発生した際は、交替勤務で24時間体制を編成し、千葉県や民間企業からの協力を得ながら、断水地域への給水活動並びに水道機能の復旧等の活動を行いました。

第1章

水道事業

第1 事業の概況

(1) 業務の状況

四市における当期の給水戸数は136,974戸で、当期の総配水量は19,847,121m³となりました。

なお、1日平均配水量は109,050m³、1日最大配水量は12月31日に116,790m³を記録しました。

有収水量は16,727,770m³で、有収率は84.28%となりました。

※ 有収水量：配水量のうち漏水量等を除いた水道料金の支払いの対象となる水量

※ 有収率：配水量における有収水量の割合

※ 負荷率：施設の利用度を一日最大配水量に対する一日平均配水量の割合で測定する指標で最大需要時と平均需要時の差を示す。（一日平均配水量÷一日最大配水量×100）

業 務 量

区 分	単 位	令 和 2 年 度 下 半 期	令 和 元 年 度 下 半 期	増 減	前 年 度 比 (%)	
1 行政区域内人口	人	323,200	323,750	△ 550	99.8	
2 給水人口	人	319,913	320,384	△ 471	99.9	
3 給水戸数	戸	136,974	134,726	2,248	101.7	
4 配水量	期間総量	m ³	19,847,121	19,554,210	292,911	101.5
	一日最大	m ³	116,790	120,841	△ 4,051	96.6
	一日平均	m ³	109,050	106,854	2,196	102.1
	一人一日平均	ℓ	341	334	7	102.1
8 有収水量	m ³	16,727,770	16,101,974	625,796	103.9	
9 有収率	%	84.28	82.35	1.93	—	
10 負荷率	%	93.37	88.43	4.94	—	

(2) 建設改良事業の概要

管路更新事業では、優先順位の高い重要路線等の老朽管を更新することにより、将来的な目標達成に向けた有効率の向上を図ることで経営の効率性を高めるとともに、耐震化の向上にもつなげることとし、当期においては、清見台東三丁目地先配水管改良（その1）工事、戸崎・長谷川地先更新工事、花輪地先配水管更新工事、長浦拓一号地先配水管改良工事等を実施しました。

第2 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出

収 入

(単位：円、税込み)

区 分	予 算 額	下 半 期 執 行 額	年 執 行 間 額	執 行 率 (%)	備 考
水道事業収益	10,887,009,000	5,601,976,937	10,874,732,146	99.89	
営業収益	9,297,253,000	4,789,603,164	9,435,290,947	101.48	
営業外収益	1,589,756,000	812,373,773	1,439,441,199	90.54	

支 出

(単位：円、税込み)

区 分	予 算 額	下 半 期 執 行 額	年 執 行 間 額	執 行 率 (%)	備 考
水道事業費用	9,977,816,000	4,980,794,396	9,659,041,382	96.81	
営業費用	9,477,322,000	4,727,939,051	9,200,040,435	97.07	
営業外費用	463,178,000	249,091,782	451,324,881	97.44	
特別損失	18,316,000	3,763,563	7,676,066	41.91	
予備費	19,000,000	0	0	0.00	

(注)

- 1 収入の執行額は調定済額、支出の執行額は支出負担行為済額の金額を表記しています。

(2) 資本的収入及び支出

収 入

(単位：円、税込み)

区 分	予 算 額			下 半 期 執 行 額	年 間 執 行 額	執行率 (%)	備 考
	現年度分	繰越額に係る 財源充当額	計				
資本的収入	4,035,939,000	3,000,000	4,038,939,000	3,140,708,630	3,193,482,222	79.07	翌年度繰越額 1,496,000円
企 業 債	1,816,000,000	3,000,000	1,819,000,000	1,036,200,000	1,042,200,000	57.30	
出 資 金	954,838,000	0	954,838,000	925,590,000	925,590,000	96.94	
国庫補助金	1,090,185,000	0	1,090,185,000	1,087,850,000	1,087,850,000	99.79	
他会計補助金	50,875,000	0	50,875,000	25,437,833	50,875,665	100.00	
負 担 金	124,041,000	0	124,041,000	65,630,797	86,966,557	70.11	翌年度繰越額 1,496,000円

支 出

(単位：円、税込み)

区 分	予 算 額			下 半 期 執 行 額	年 間 執 行 額	執行率 (%)	備 考
	現年度分	繰 越 分	計				
資本的支出	7,466,361,000	55,176,000	7,521,537,000	2,080,069,704	6,945,316,419	92.34	翌年度繰越額 138,886,000円
建設改良費	5,681,880,000	55,176,000	5,737,056,000	1,193,845,525	5,182,371,267	90.33	翌年度繰越額 138,886,000円
企業債償還金	1,769,481,000	0	1,769,481,000	886,224,179	1,762,945,152	99.63	
予 備 費	15,000,000	0	15,000,000	0	0	0.00	

(注)

- 1 収入の執行額は調定済額、支出の執行額は支出負担行為済額の金額を表記しています。
- 2 年間執行額には、前年度繰越分を含みます。

第3 令和3年度の予算の概要

(1) 予算の概要

令和3年度予算は、「君津地域水道事業統合広域化基本計画」に掲げる施設整備水準の改善を、国からの交付金等の特定財源を活用しながら、着実に推進していくための事業費を計上するとともに、地震災害に加えて近年の台風や豪雨等の自然災害を踏まえた災害対策を推進し、計画的・効率的な事業運営に配慮した予算を計上しました。

(2) 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	令和3年度当初予算額	令和2年度当初予算額	比較増減
水道事業収益	10,766,453	10,888,061	△ 121,608
営業収益	9,273,968	9,297,253	△ 23,285
営業外収益	1,492,485	1,590,808	△ 98,323

支 出

(単位：千円)

区 分	令和3年度当初予算額	令和2年度当初予算額	比較増減
水道事業費用	10,147,649	9,980,048	167,601
営業費用	9,707,529	9,507,977	199,552
営業外費用	383,336	434,755	△ 51,419
特別損失	38,784	18,316	20,468
予備費	18,000	19,000	△ 1,000

収入では水道料金及び加入負担金が減少傾向にあり、支出では木更津市及び君津市の集中監視設備更新による除却費が増加すること等により、純利益は前年度比で約315,000千円減の204,365千円を見込んでいます。

(3) 資本的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	令和3年度当初予算額	令和2年度当初予算額	比較増減
資本的収入	4,715,707	3,999,041	716,666
企業債	2,233,500	1,819,000	414,500
出資金	1,039,678	926,900	112,778
国庫補助金	1,273,100	1,078,225	194,875
他会計補助金	51,516	50,875	641
負担金	117,913	124,041	△ 6,128

支 出

(単位：千円)

区 分	令和3年度当初予算額	令和2年度当初予算額	比較増減
資本的支出	7,960,753	7,441,361	519,392
建設改良費	6,128,805	5,656,880	471,925
企業債償還金	1,816,948	1,769,481	47,467
予備費	15,000	15,000	0

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 3,245,046千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 406,992千円、減債積立金 38,626千円、建設改良積立金 631,849千円及び過年度分損益勘定留保資金 2,167,579千円で補てんするものとします。

第2章

水道用水供給事業

第1 事業の概況

(1) 業務の状況

本年度の年間総給水量は49,587,820 m³を予定しておりますが、当期の給水量は25,018,114 m³となり、予定量24,681,930 m³に対し101.36%の供給実績となりました。

なお、1日平均給水量は137,462 m³となっており、1日最大給水量は12月25日に150,564 m³を記録し、負荷率は91.30%となりました。

※ 有収水量（給水量）：送水量のうち漏水量等を除いた給水料金の支払いの対象となる水量

※ 有収率：送水量における有収水量の割合

※ 負荷率：施設の利用率を一日最大給水量に対する一日平均給水量の割合で測定する指標で、最大需要時と平均需要時の差を示す。（一日平均給水量÷一日最大給水量×100）

業 務 量

区	分	単 位	令和2年度 下半期	令和元年度 下半期	増 減	前年度比 (%)	
1	取 水 量	m ³	25,318,241	25,029,918	288,323	101.2	
2	送 水 量	m ³	25,094,666	24,760,020	334,646	101.4	
3	有収水量（給水量）	m ³	25,018,114	24,746,154	271,960	101.1	
4	構 成 団 体 別 内 訳	千 葉 県	m ³	9,397,935	9,626,978	△ 229,043	97.6
5		木 更 津 市	m ³	6,917,211	6,612,996	304,215	104.6
6		君 津 市	m ³	3,241,944	3,184,952	56,992	101.8
7		富 津 市	m ³	2,574,744	2,601,910	△ 27,166	99.0
8		袖 ケ 浦 市	m ³	2,886,280	2,719,318	166,962	106.1
9	一 日 平 均 給 水 量	m ³	137,462	135,225	2,237	101.7	
10	一 日 最 大 給 水 量	m ³	150,564	144,627	5,937	104.1	
11	有 収 率	%	99.69	99.94	△ 0.25	—	
12	負 荷 率	%	91.30	93.50	△ 2.20	—	

(2) 建設改良事業の概要

本年度は、老朽化した設備の更新及び浄水施設の耐震化を行うこととしており、当期においては、大寺浄水場薬品注入機械設備及び浄水場PAC追加注入機械設備工事、大寺浄水場薬品注入電気計装設備及び浄水場PAC追加注入電気設備工事等を実施しました。

第2 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出

収 入

(単位：円、税込み)

区 分	予 算 額	下 半 期 執 行 額	年 間 執 行 額	執 行 率 (%)	備 考
水道事業収益	6,845,686,000	3,433,641,295	6,882,831,153	100.54	
営業収益	6,539,707,000	3,265,084,930	6,550,740,195	100.16	
営業外収益	305,979,000	168,556,365	332,090,958	108.53	

支 出

(単位：円、税込み)

区 分	予 算 額	下 半 期 執 行 額	年 間 執 行 額	執 行 率 (%)	備 考
水道事業費用	6,301,557,000	2,666,157,306	5,834,505,431	92.59	翌年度繰越額 55,000,000円
営業費用	6,004,106,000	2,449,056,452	5,554,469,694	92.52	翌年度繰越額 55,000,000円
営業外費用	281,294,000	216,396,670	278,856,827	99.14	
特別損失	7,157,000	704,184	1,178,910	16.48	
予備費	9,000,000	0	0	0.00	

(注)

- 1 収入の執行額は調定済額、支出の執行額は支出負担行為済額の金額を表記しています。

(2) 資本的収入及び支出

収 入

(単位：円、税込み)

区 分	予 算 額			下 半 期 執 行 額	年 間 執 行 額	執行率 (%)	備 考
	現年度分	繰越額に係る 財源充当額	計				
資本的収入	521,740,000	0	521,740,000	319,120,000	319,120,000	61.16	
企 業 債	500,000,000	0	500,000,000	300,000,000	300,000,000	60.00	
出 資 金	21,740,000	0	21,740,000	19,120,000	19,120,000	87.94	

支 出

(単位：円、税込み)

区 分	予 算 額			下 半 期 執 行 額	年 間 執 行 額	執行率 (%)	備 考
	現年度分	繰越分	計				
資本的支出	4,339,889,000	888,670,500	5,228,559,500	1,142,140,437	4,304,720,236	82.33	翌年度繰越額 1,083,943,300円
建設改良費	3,425,169,000	888,670,500	4,313,839,500	689,759,256	3,405,003,857	78.93	翌年度繰越額 1,083,943,300円
企業債償還金	909,720,000	0	909,720,000	452,381,181	899,716,379	98.91	
予 備 費	5,000,000	0	5,000,000	0	0	0.00	

(注)

- 1 収入の執行額は調定済額、支出の執行額は支出負担行為済額の金額を表記しています。
- 2 年間執行額には、前年度繰越分を含みます。

第3 令和3年度の予算の概要

(1) 予算の概要

令和3年度予算は、令和2年度に策定した3計画「第1次水需給計画」「第4次施設整備計画」「第6次財政収支計画」に基づき計上しました。

取り組みが急がれる施設の耐震化に加え、災害時における停電対策を進めるとともに、供給能力の低下や重大故障を回避するため老朽化施設の更新等を実施する予定です。

(2) 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	令和3年度当初予算額	令和2年度当初予算額	比較増減
水道事業収益	6,738,303	6,845,686	△ 107,383
営業収益	6,433,849	6,539,707	△ 105,858
営業外収益	304,454	305,979	△ 1,525

支 出

(単位：千円)

区 分	令和3年度当初予算額	令和2年度当初予算額	比較増減
水道事業費用	6,387,371	6,301,557	85,814
営業費用	6,141,307	6,159,513	△ 18,206
営業外費用	237,064	125,887	111,177
特別損失	0	7,157	△ 7,157
予備費	9,000	9,000	0

支出は全体的に減少しているものの、収入では給水料金の値下げによる給水収益の減少があり、純利益は前年度比で約60,000千円減の177,029千円を見込んでいます。

(3) 資本的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	令和3年度当初予算額	令和2年度当初予算額	比 較 増 減
資 本 的 収 入	406,200	521,740	△ 115,540
企 業 債	400,000	500,000	△ 100,000
出 資 金	6,200	21,740	△ 15,540

支 出

(単位：千円)

区 分	令和3年度当初予算額	令和2年度当初予算額	比 較 増 減
資 本 的 支 出	2,865,834	4,339,889	△ 1,474,055
建 設 改 良 費	1,973,777	3,425,169	△ 1,451,392
企 業 債 償 還 金	887,057	909,720	△ 22,663
予 備 費	5,000	5,000	0

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 2,459,634千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 174,182千円及び過年度分損益勘定留保資金 2,285,452千円で補てんするものとします。